

## ⑫ 公開特許公報 (A) 平3-259607

⑬ Int. Cl. 5  
H 03 G 9/00識別記号 庁内整理番号  
A 8326-5J

⑭ 公開 平成3年(1991)11月19日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ロードネスコントロール用トランス

⑯ 特願 平1-51985

⑰ 出願 平1(1989)3月6日

⑱ 発明者 藤田 貞夫 埼玉県川越市下新河岸2-18

⑲ 出願人 藤田 貞夫 埼玉県川越市下新河岸2-18

## 明細書

1. 考案の名称 ロードネスコントロール用トランス

## 2. 特許登録請求の範囲

ロードネスコントロール回路にて、音量調整器を変化すると其の変化に対応して、自動的に低音又は高音の増強度を変化する事をトランス、又は、チョークコイルを使用して行う事。

## 3. 考案の詳細な説明

此の考案は可変抵抗器により、音量を変化すると音量が最大の時低音中音高音の増強度が一定となり、音量を下げて行くに従い中音部より低音高音部の増強度が強くなり、其の割合が音量が下がる程大きくなる事を、トランス又はチョークコイルのリアクタンスが、周波数が変化する事により変わる事を、利用して行うものである。従来のロードネスコントロールは、音量調整器と低音及び高音の調整器が別々になつてゐるものが多く、次の様な欠点が多い。

(イ) RC型を多く使用してあり低音高音の増強度が小さい。

(ロ) 使用者が自分の好みの曲線に補正する事ができない。

(ハ) 人間の耳の特性を表す、フレツチヤマンソンの曲線に近似的でない。

(ニ) 回路が複雑になり設定がむづかしい。

(ホ) 特に低音の増強度は重用であり、一般家庭の6畳か8畳の小さい室で聞く時、大音量を出すと隣近所に騒音妨害となるので人間が会話する程度の音量で聞く事が多いので低音の不足した、物足りない音質となる。

此の考案は以上の欠点が少なく、フレツチヤマンソンの曲線と、近似的な動作をするものである。第一図の(2) (3)を使用しない時の(1)の変化による特性は第2図の通りであり、フレツチヤマンソンの特性と近似的である。

第一図の設定時の調整法は(1)の音量調整器を-30デシベルの位置にあく。此の時(4)は利得最大か適宜の位置にあき、(5)の利得を加減して音圧計の読み60デシベル、又は人間の耳で通常の会話程度の音量とする、次に各音源の利得を一致させると(1)を最大にした時の音圧は90デシベルとなり、スピーカーの音圧は、低音、中音、高音、の特性が平坦となる。其の後は(1)の変化だけで低音中音高音の音圧特性が、第2図のごとく変化して理想的な動作をするものである。

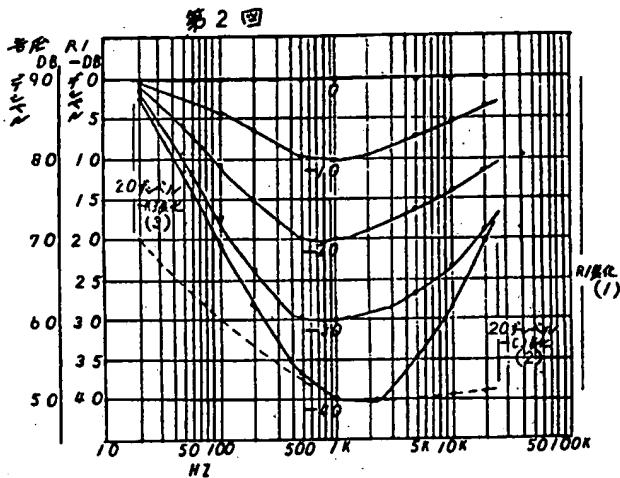
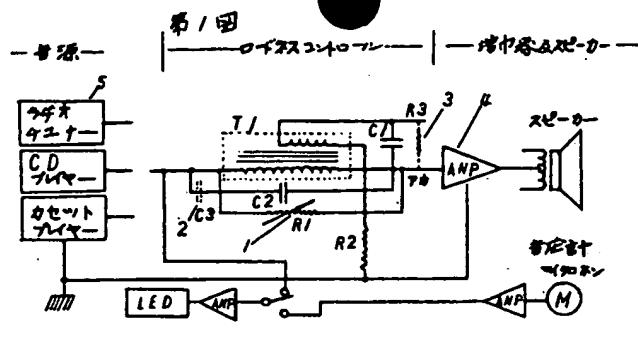
## 4. 図面の簡単な説明

第一図はロードネスコントロール部分の記録図及び原理的な部分動作説明図である。

第二図は音量調整器の変化による、音圧レベルの特性変化曲線であり、フレツチヤマンソンの特性と近似的である。

## 手続補正書

平成 1年 6月 16日



特許庁長官

般

1. 事件の表示 平成 1年 特許第 第 51985 号

2. 発明の名称

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人 藤田 貞夫

住所(居所) 埼玉県川越市下新町2018

氏名(名称) 藤田 貞夫

4. 代理人

住所(居所)

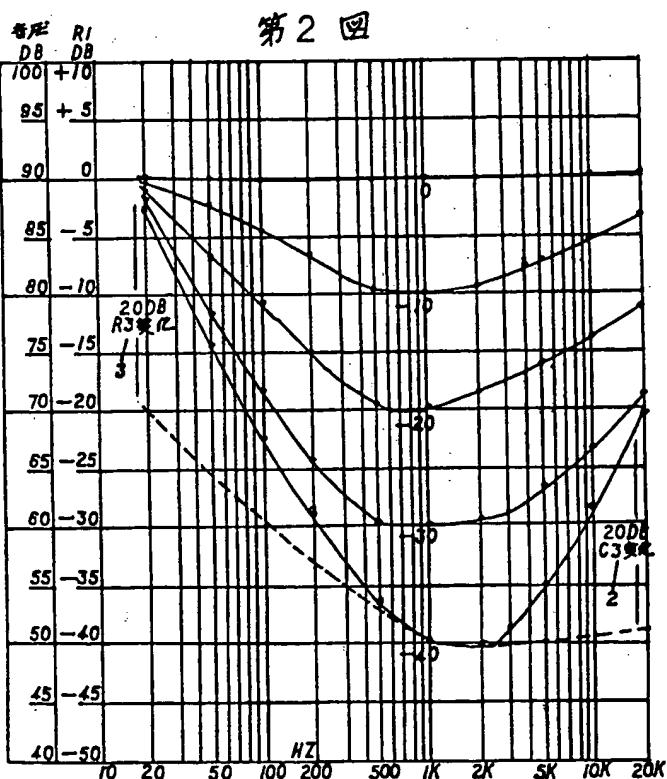
氏名(名称) 印

5. 補正命令の日付 (発送日)

6. 補正の対象 1. 明細書説明の各款の明細書特許請求の範囲  
2. 明細書説明の特許登録請求範囲  
3. 図面 第2回

7. 補正の内容

1. 明細書1頁1行 1. 本発明の名称を  
1. 明細書1頁1行
2. 特許登録請求範囲を  
2. 特許登録請求範囲
3. 明細書1頁1行 3. 本発明の詳細な説明を  
3. 本発明の詳細な説明
4. 第2回を13枚の複数一覧明一端く別紙第2回



## 手続補正書

平成 2年 6月 1日

特許庁長官

般

1. 事件の表示 平成 1年 特許第 第 51985 号

2. 発明の名称 ロードレスコントロール用トランス

3. 補正をする者

特許出願人 藤田 貞夫

住所(居所) 埼玉県川越市下新町2018

氏名(名称) 藤田 貞夫

4. 代理人

住所(居所)

氏名(名称) 印

5. 補正命令の日付 (発送日)

6. 補正の対象 1. 明細書説明の各款、明細書説明の各款、  
明細書2. 特許登録請求範囲1行  
明細書3. 本発明の詳細な説明1行  
明細書2頁1行、明細書の簡単な説明1行  
第1回1行の明細文書

7. 補正の内容

1. 特許登録の説明の各款 ロードレスコントロール用トランスを、  
ロードレスコントロール用トランス
2. 明細書1頁1行 2. 特許登録請求範囲を  
ロードレスコントロール用トランス
3. 明細書2. 特許登録請求範囲の範囲1行 ロードレスコントロールを  
ロードレスコントロール
4. 明細書3. 本発明の詳細な説明1行 ロードレスコントロールを  
ロードレスコントロール
5. 明細書1頁1行の明細文書 ロードレスコントロールをロードレスコントロール
6. 第1回1行の明細文書 ロードレスコントロールをロードレスコントロール



## 手続補正書

平成3年6月27日

平成2年6月1日

特許庁長官

1. 事件の表示 平成1年 特許第51985号  
 2. 発明の名称 ロードネスコントロール用トランス  
 3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人 藤田 貞夫

住所(居所) 埼玉県川越市下新河岸2の18

氏名(名称) 藤田 貞夫

4. 補正命令の日付 平成2年8月26日

5. 補正により増加する発明の数

6. 補正の対称 平成2年6月1日、提出 手続補正書の

補正の対称の欄及び補正の内容の欄

7. 補正の内容

1. (イ)を削除する。  
 2. 特許請求の範囲を「ラウドネスコントロール回路にて、  
 音量調整器を変化すると其の変化に対応して、自動的に低音又  
 は高音の増強度を変化する事をトランス、又はチョークコイル  
 を使用して行う事」と補正する。

3. 第1図を添付する

## 手続補正書

平成2年6月1日

特許庁長官

1. 事件の表示 平成1年 特許第51985号  
 2. 発明の名称 ロードネスコントロール用トランス  
 3. 補正をする者

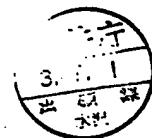
事件との関係 特許出願人 藤田 貞夫

住所(居所) 埼玉県川越市下新河岸2の18

氏名(名称) 藤田 貞夫

4. 補正命令の日付

5. 補正により増加する発明の数

6. 補正の対称 明細書の「発明の名称」「特許請求の範囲」  
 「図面の簡単な説明」及び「図面」

第1回

